

上映企画

日本の女性映画人(3)——1990年代

Women Who Made Japanese Cinema [Part3]:1990s

2025 年 2 月 11 日(火)ー3 月 23 日(日) @国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール OZU[2 階]

日本映画の歴史において、監督のみならず多様な職域で女性映画人たちが手腕を発揮してきました。2022 年度の「日本の女性映画人(1)——無声映画期から1960 年代まで」、2023 年度の「日本の女性映画人(2)——1970-1980 年代」に続き、その功績を回顧する特集上映を開催します。

1980 年代以前の日本の映画界では、俳優出身の女性監督が台頭し、また記録映画やピンク映画の分野では多くの作品を発表する女性監督の活躍も見られた一方で、一般劇映画の作り手として女性監督がキャリアを築いていくのは困難であり、1990 年代ようやく継続的に作品を発表する監督が目立つようになりました。つまり、1990 年代は、日本映画史において女性が監督を「職業」とし始めた最初の時代であったといえます。



本特集では、1990 年代前後の作品を含め、劇映画、ドキュメンタリー、実験映画、アニメーションなど計 52 作品(37 プログラム) を上映し、それぞれの女性映画人を顕彰するとともに、日本映画史を見据える新たな視点を提示します。

見どころ

▼メジャーでインディーズで……映画監督を「職業」とする女性たちの登場

海外留学を経て長篇監督デビューを果たした山崎博子や佐藤嗣麻子、CMディレクターを経て映画監督となった松浦雅子は、大手映画会社のもとで拡大公開される作品を手がけた女性監督の先駆として特筆すべき存在です。一方、ぴあフィルムフェスティバル(PFF)で頭角を現し、ロッテルダム国際映画祭で受賞した風間志織、個人映画で注目を浴びたのち長篇監督デビュー作によりカンヌ国際映画祭で受賞した河瀬直美など、インディーズ的才覚を持った女性映画作家も国内外で高く評価されました。

▼個人映画・実験映画の分野で活躍した女性作家たち

1990年代には、イメージフォーラム・フェスティバル(IFF)など個人映画・実験映画の発表の場を通じて、多くの女性映像作家たちがそれぞれ独自の個性を発揮しました。本特集では、80年代から映像制作を行っていた小口詩子、大学在学中より身体表現と映像制作を行い、初作品でIFFに入選した和田淳子、幻想的かつブラック・ユーモアの効いた世界観を展開した寺嶋真理、身体と容姿にまつわる関心を突きつめることで「自己と他者」の関係を探求した歌川恵子らの作品を取り上げます。また、次の世代につらなる先駆的な自主映画・実験映画を手がけた1990年代以前の女性映画人の作品として、道下匡子と鷲樹丸の作品も上映します。

▼1990年代の潮流に寄与した女性の映画プロデューサーの活躍

阪本順治監督作品を長年にわたって支えてきた椎井友紀子や、原将人『20世紀ノスタルジア』(1997)の製作のきっかけをつかった佐藤美由紀、映画美学校の立ち上げにも参加した松田広子、夫の小川紳介が残した記録フィルムをもとにした作品『満山红柿』(2001)をプロデュースした白石洋子など、1990年代は女性の映画プロデューサーが次々に頭角を現した時代でもあります。本特集では、これらの作品が同時代に与えたインパクトと現在に至る影響を再検証します。

《本特集に関するお問い合わせ》※一部の作品のステル写真を広報用に貸出します。ご希望の方は下記までお問い合わせください。
国立映画アーカイブ(上映室:金) MAIL:pr@nfaj.go.jp TEL:03-3561-0823 FAX:03-3561-0830

開催概要

企画名：日本の女性映画人（3）——1990年代

（英題：Women Who Made Japanese Cinema [Part3]:1990s）

会期：2025年2月11日（火）－3月23日（日） ※月曜休館

会場：国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール OZU [2階]

H P：<https://www.nfaj.go.jp/film-program/women202502/>

問合せ：050-5541-8600（ハローダイヤル）

チケット：詳細はHPをご確認ください。

上映作品（37 プログラム、計 52 作品） ※**NEW**とある作品は、ニュープリントや DCP など新たに上映素材を作製しています。

対象者		上映作品	公開年	監督名
監督				
1	山崎博子	ぼくらの七日間戦争 2 NEW	1991	山崎博子
2	佐藤嗣麻子	エコエコアザラク Wizard of Darkness	1995	佐藤嗣麻子
3		K-20 怪人二十面相・伝 NEW	2008	
4	松浦雅子	人でなしの恋	1995	松浦雅子
5		PLATONIC SEX NEW	2001	
6	風間志織	冬の河童	1995	風間志織
7		火星のカノン	2002	
8		せかいのおわり	2004	
9	奈良橋陽子	WINDS OF GOD	1995	奈良橋陽子
10	高山由紀子	風のかたみ	1996	高山由紀子
11	河瀬直美	萌の朱雀	1997	河瀬直美
12	松井久子	ユキエ	1998	松井久子
13	合津直枝	落下する夕方	1998	合津直枝
14	浜野佐知	だいななかんかいほうこう 第七官界彷徨 尾崎翠を探して	1998	浜野佐知
15	吉行由実／小谷内郁代	発情娘 糸ひき生下着 NEW	1998	吉行由実
		境界線の向こう側 NEW	1998	小谷内郁代



『ぼくらの七日間戦争 2』



『K-20 怪人二十面相・伝』 ©2008 「K-20」製作委員会



『冬の河童』 ©風間志織

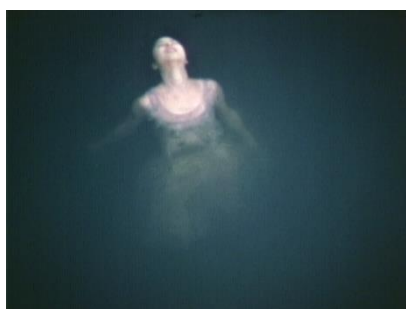
監督（ドキュメンタリー）

16	栗原奈名子／山上千恵子 ／瀬山紀子	ルッキング・フォー・フミコ NEW	1993	栗原奈名子
		30 年のシスターフッド 70 年代ウーマンリブの女たち NEW	2004	山上千恵子、瀬山紀子

《本特集に関するお問い合わせ》※一部の作品のステル写真を広報用に貸出します。ご希望の方は下記までお問い合わせください。

国立映画アーカイブ（上映室：金） MAIL: pr@nfaj.go.jp TEL: 03-3561-0823 FAX: 03-3561-0830

17	羽田澄子	女たちの証言－労働運動のなかの先駆的な女性たち	1996	羽田澄子
18	熊谷博子	映画をつくる女性たち	2004	熊谷博子
監督（アニメーション）				
19	四分一節子／山田火砂子	雪渡り NEW	1994	四分一節子
		エンジェルがとんだ日 NEW	1995	山田火砂子
監督（自主映画／個人映画／実験映画）				
20	小口詩子／和田淳子	小口詩子のおでかけ日記	1988	小口詩子
		ばら科たんぽぽ	1990	
		眠る花	1991	
		閉所嗜好症	1993	和田淳子
		桃色ベビーオイル	1995	
21	寺嶋真理	緑虫 NEW	1991	寺嶋真理
		女王陛下のポリエステル犬 NEW	1994	
22	歌川恵子	みみのなかのみず NEW	1993	歌川恵子
		超愛人 NEW	1994	
		カルデラ姫 NEW	1995	
23	道下匡子／鷺樹丸	Cherry Blossoms NEW	1975	道下匡子
		in my home town I NEW	1976	
		in my home town II NEW	1976	
		in my home town III NEW	1976	
		わらじ片っぽ	1976	鷺樹丸



『小口詩子のおでかけ日記』



『ばら科たんぽぽ』



『超愛人』

脚本

24	吉村元希	夢の女	1993	坂東玉三郎
25	信本敬子	ナースコール	1993	長崎俊一
26	奥寺佐渡子	学校の怪談	1995	平山秀幸
27	森下直	誘拐	1997	大河原孝夫
28	神山由美子	OL 忠臣蔵	1997	原隆仁
29	西田直子	多淫 OL 朝まで抜かないで	2000	女池充
		姉妹 OL 抱きしめたい	2001	田尻裕司
30	本調有香	blue	2003	安藤尋

《本特集に関するお問い合わせ》※一部の作品のステル写真を広報用に貸出します。ご希望の方は下記までお問い合わせください。

国立映画アーカイブ(上映室: 金) MAIL: pr@nfaj.go.jp TEL: 03-3561-0823 FAX: 03-3561-0830



『ナースコール』



『学校の怪談』 ©1995 TOHO CO., LTD.



『blue』

製作

31	椎井友紀子	ビリケン	1996	阪本順治
32	松田広子	どこまでもいこう	1999	塩田明彦
33	佐藤美由紀	20 世紀ノスタルジア	1997	原将人
34	白石洋子	満山红柿	2001	小川紳介、彭小蓮



『ビリケン』



『どこまでもいこう』



『20 世紀ノスタルジア』

その他

35	浅梨なおこ	ケルベロス 地獄の番犬	1991	押井守
36	黒澤和子／野上照代	まあだだよ	1993	黒澤明
37	芦澤明子／万田珠実	Unloved NEW	2002	万田邦敏



『満山红柿』



『まあだだよ』